

令和3年度 飛騨市立古川小学校 特別の教科道徳 研究構想図

<学校の教育目標>

心豊かに たくましく 未来を切り拓く

<児童の実態>

- 自分の内面を見つめ、他者とともによりよい生き方を求めることの大切さを理解している。
- 自分から主体的に実践しようとする態度は弱い。
- 自分事としてとらえ、関わっていこうとする実践的な態度は弱い。

<飛騨市の教育方針から>

- ・道徳教育推進教師を中心に指導体制を確立し、年間指導計画に基づいた授業を計画的・発展的に実践することにより、自己を見つめる力と他を思いやる心を育てます。
- ・家庭や地域と連携した豊かな体験活動を通して、よりよく生きるための判断力や実践力を育てるなど、地域ぐるみの道徳教育を推進します。

<研究主題>

自己を見つめ、他者とともによりよく生きようとする子の育成
～自分から・自分で・自分なら～

<育みたい資質・能力>

○児童から主体的に学ぶ意欲 (自分から)

- ・やる気や意欲をもち、強い課題意識をもって取りかかることができる子

○自分で実践しようとする態度 (自分で)

- ・教科等の見方や考え方を働かせて、粘り強く問題解決しようとする子

○自分ならどうするか考え、判断する力 (自分なら)

- ・学びの深まりを豊かに伝えたり、活用したりできる子

<研究内容1>

自己の生き方をより深く考えることができる道徳科の授業の在り方の追求

- (1) 課題意識をもった、主体的な学びを生み出すための導入の工夫
 - ・魅力ある教材の提示
 - ・価値に触れる発問の位置付け
- (2) 自己を見つめ、多面的・多角的に考えるための展開の工夫
 - ・価値理解を促す主発問の位置付け
 - ・立場を明確にした議論の場の位置付け
- (3) 自己を見つめ、考えを深める終末の工夫
 - ・本時学んだ価値について振り返り、よりよい生き方について考える場の位置付け

<研究内容2>

道徳科との関連を図り、道徳的な判断力・心情・実践意欲と態度を育成するための各教育活動の在り方の追求

- (1) 道徳科との関連を意識した年間計画、別葉の工夫
 - ・発達段階、児童の実態に即した見直し
- (2) 道徳科との関わり(関連する内容項目)を意識した教育活動の実践
 - ・教科等の授業に道徳的要素を含むねらいの位置付け
 - ・内容項目に関連付けた価値付け

<研究内容3>

学校・家庭・地域と連携し、道徳性を育む活動の充実

- (1) 主体的に地域貢献する地域講師との出会い
 - ・F A (ふるさとアドバイザー)、地域講師を生かした、展開の工夫
 - ・ゲストティーチャーを招き、考え方や生き方から学ぶ場の位置付け
- (2) 家庭や地域との連携
 - ・学校運営協議会やPTA活動を通じた、地域や保護者との願いの共有化
 - ・事前調査や事後指導の見届け依頼

■研究の基盤づくり

- ◎ 飛騨市学習習慣確立指針に基づく、目指す学びの姿「①話す人に心を向け、最後まで聴き取る」、「結論に根拠を付けて話す」の継続
- 授業に活かす児童理解の取組(毎日の生活、授業の様子、ノート記述、挙手回数・発言内容、作文など)
- 学習規律や授業の学び方の定着を目指した児童委員会(学習委員会)活動への指導・支援
- 家庭と連携した、家庭学習習慣の確立(「家庭学習の手引き」の活用)